

いつもなにかがあたらしい

東京ニューシティ管弦楽団 第94回定期演奏会

巨匠 と 新星 シリーズ



指揮
秋山 和慶
Kazuyoshi Akiyama

フルート
松木 さや
Saya Matsuki

第29回日本管打楽器コンクール
フルート部門優勝、
東京ニューシティ管弦楽団特別賞受賞
第82回日本音楽コンクール
フルート部門優勝)



珠玉のフランス音楽
巨匠秋山和慶の魔術
翼を得た新星が天高く色彩を放つ!

プーランク
Francis Poulenc

組曲「牝鹿」FP.36 Suite Les biches FP.36

イベル
Jacques Ibert

フルート協奏曲

サン=サーンス
Camille Saint-Saëns

交響曲第3番(オルガン付)

Flute Concerto

The Symphony No. 3 in C minor, Op. 78(Organ Symphony)

2014年 7月5日(土) 14:30開演
13:30ロビー開場
東京芸術劇場コンサートホール
(池袋駅西口より徒歩2分)

■お申し込み・お問い合わせ
東京ニューシティ管弦楽団事務局(土・日・祝を除く10時から18時)
チケットダイヤル: 03-5933-3266
FAX: 03-6766-3782

ホームページからお申し込みいただけます。 <http://tnco.or.jp>

チケットぴあ(Pコード:228-964) TEL:0570-02-9999 <http://www.t.pia.jp>
東京芸術劇場ボックスオフィス TEL:0570010-296(ナビダイヤル)
東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>
イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&ケータイ)

【主催】一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団

料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
学生半額(25歳以下、S席を除く) 小中高生1,000円(保護者同伴5席を除く)
シニア割10%引き(60歳以上) 友の会会員15%引き(随時入会受付 年会費500円)
※上記割引については事務局までお問い合わせ下さい。

好評発売中!

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。

文化芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)

Affinis
ETIQUETTE
アフィニス文化財団 助成公演

M
ecenat
企業メセナ協議会
助成認定活動

人はなぜパリに惹きつけられるのか——。昔ながらの落ち着いた美しい街並み、何万人何億人が行き来したであろう石畳。伝統を守っているように見えて、しかし、いつも新しさを求めて進化している街。だから、人はパリの街にたたく時、「新しい自分」がそこにいることに気づく。そう、パリは一人ひとりの感性を刺激してくれるから、人はこの街に惹かれ続けるのだ。

東京ニューシティ管弦楽団第94回定期演奏会は、そのパリで生まれパリで生涯を送った3人の魅力的な音楽家を取り上げる。

神童として13歳でパリ音楽院に入学を許されたサン＝サーンス。音楽だけでなく様々な方面に多才ぶりを発揮したが、常人では計り知れない感性はとりわけオルガンの即興演奏で遺憾なく発揮され、パリっ子を驚嘆させた。そのオルガンを含めた大編成オーケストラによる「交響曲第3番（オルガン付き）」は作曲家自身「私が注ぎ込める全てを注入した」と言う力作。瞑想、平和、高揚を喚起するこの曲はまさに壮大な宇宙感に満ちた作品だ。

一方、作曲家としてのデビューは遅かったが、知的でユーモアに満ちた作品でパリっ子に愛されたプーランク。『牝鹿』はバレエ・リュス（ロシア・バレエ団）を主宰するディアギレフの依頼でバレエ音楽として作曲され、コクトーの脚本、マリー・ローランサンの装置と衣装、振り付け・主役はニジンスカという、知の結晶のような作品。後にプーランクは透明感溢れるオリジナルから5曲を選んで、円熟したオーケストレーションで全面改訂し今回演奏される組曲の形にしたのだった。

作曲家であると同時にフランス楽壇の要職を数々務めた、生粋のパリっ子イベール。彼の「フルート協奏曲」は20世紀のフルート協奏曲を代表する作品で、軽妙で洒脱、多彩にして高貴と、20分足らずの作品中によくそこまできると言えるほど、パリのエッセンスが詰まっている。

文化の伝統を礎にパリっ子たちは新しいムーブメントを常に刮目し批評する（逆に二番煎じには容赦ない）。そしてその中に新しい星を見つけたら、それを温かく見守り、育てて行こうとする。今回の定期演奏会はその動きと同じ意味合いを含んでいる。「巨匠と新星シリーズ2」。日本楽壇の重鎮・秋山和慶が選び、コラボレーションしようと目論んだのは、フルートの松木さや。この機会を生かし切ろうとする彼女にも注目だ。

秋山 和慶 (指揮) Kazuyoshi Akiyama, conductor



1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。

1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキウス響音楽監督を歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR 北ドイツ放送響、ケルン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年に紫綬褒章、2011年に旭日小綬章を受章した。

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督／常任指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティスティック・ディレクター／プリンシパル・コンダクターを務めている。

松木 さや (フルート) Saya Matsuki, conductor



1990年生まれ。千葉県出身。9歳よりフルートを始める。

東京藝術大学音楽学部管打楽器科を首席で卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。

第62回全日本学生音楽コンクールフルート部門高校の部東京大会第1位、全国大会第1位。

第29回日本管打楽器コンクールフルート部門第1位、文部科学大臣賞、東京都知事賞、東京ニューシティ管弦楽団特別賞受賞。第23回日本木管コンクールフルート部門第1位、コスモス賞（聴衆賞）、兵庫県知事賞、神戸新聞社賞受賞。平成24年度優秀学生顕彰文化・芸術分野大賞。2013年皇居桃華楽堂にて御前演奏。第82回日本音楽コンクールフルート部門第1位。岩谷賞（聴衆賞）、加藤賞、

吉田賞、E・ナカミチ賞受賞。

これまでに二藤部裕一、佐野悦郎、金昌国、高木綾子の各氏に師事。

現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程2年に在学中。

チケット
お申込み
について

事務局チケットダイヤルでのお申込み

Tel:03-5933-3266

※10:00～18:00（土日祝を除く平日）

Fax: 03-6766-3782 E-mail: ticket@tnco.or.jp

ネットでのご予約も

座席指定が可能になりました！

http://tnco.or.jp/

※会員登録（メールアドレスとパスワード）が必要です（無料）。

●ファミリーマートで代金決済・チケット受取
ができます。
●クレジットカードでの決済も可能になりました。
●事務局よりチケットを送付することもできます。

※どの場合も所定の手数料をご負担いただきます。